

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP8-93
研究課題名	蛍光 in situ ハイブリダイゼーション (FISH) 法による成人健康調査集団の細胞遺伝学的調査
研究責任者 (所属)	児玉喜明 (放射線影響研究所)
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的：</p> <p>細胞に放射線が当たると、染色体の形に異常（染色体異常といいます）が生じます。その数は受けた放射線の量に比例して増えることが分かっていますので、原爆被爆者の血液細胞を調べると、その方が受けた放射線のおよその量が分かります。</p> <p>一方、被爆者の推定被ばく線量には被ばく時の位置と遮蔽状況から計算で求めた線量（物理学的推定線量といいます）があります。</p> <p>本研究の目的は、染色体異常の数を調べることで、被爆者一人一人の物理学的推定線量を評価、あるいは補うことにあります。</p> <p>利用方法：</p> <p>1993年から2014年の間に調査対象者からご提供いただいた血液（2ml）を誰の血液かわからないようにし（匿名化といいます）、顕微鏡下で染色体異常の数を調べます。</p> <p>対象者の物理学的推定線量が増加すると染色体異常の数も増えているかどうかを調べます。また遮蔽状況や被爆した時の年齢の違いにより増え方が違うかどうかについても調べます。</p> <p>解析に用いる情報はすべて匿名化されていますので個人が特定されることはありません。</p>
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：カリングス・ハリー（米国・所属先未定）放射線影響研究所統計部顧問） <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	被爆都市、性別、出生年月、被爆時年齢、検査年月、検査時年齢、物理学的推定線量、遮蔽情報、放射線治療歴、染色体検査情報。個人情報を匿名化した個別データを提供します（対応表は放影研が保有）。個人情報保護のため推定線量は有効数字 3 桁までとし、生年月日、検査年月日は年月までとし、日付は提供されません。

利用する者の範囲	放射線影響研究所 児玉喜明 濱崎幹也 中村 典 カリングス・ハリー (米国・所属先未定)
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	児玉喜明 (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：児玉喜明 公益財団法人 放射線影響研究所 分子生物科学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131